

看護師等養成所の運営に関する指導要領について(抜粋)

(平一三・一・五 健政発 五) (最終改正 平二一・二・一九)

別表1 保健師教育の基本的考え方、留意点等

教育の基本的考え方	
1	人々の心身の健康並びに疾病・障害の予防、発生、回復及び改善の過程を社会的条件の中で系統的、予測的にとらえアセスメントする能力を養うとともに、自立を支援する能力を養う。
2	地域の人々が自らの健康状態を認識し、健康の保持増進を図るための健康学習や自主・自助グループ活動等の集団活動を育成するとともに、自主的に社会資源を活用できるよう支援し評価する能力を養う。
3	地域に顕在している健康問題を個別事例を通して把握するとともに、潜在している健康課題を予測し、それらを地域住民、関係機関、他職種と連携・協働し組織的に解決する能力を養う。
4	保健・医療・福祉行政の最新の知識を主体的・継続的に学ぶ能力を養うとともに、保健・医療・福祉サービスを調整し活用する能力及び地域の健康課題の解決に必要な社会資源を開発し、施策に反映する能力を養う。

教育内容	単位数	留意点
地域看護学	12	学校保健・産業保健を含む内容とする。
地域看護学概論	2	公衆衛生看護の基本理念と目標を学び、地域における看護活動の基本的知識及び考え方、地域を基盤とした予防の考え方と対応の基本について学ぶ内容とする。
個人・家族・集団の生活支援	10	人々の健康行動の特性及び効果的な介入方法と技術を学ぶ内容とする。 集団における教育方法や集団力学等を学ぶ内容とする。
地域看護活動展開論		地域(産業、学校等を含む)における看護活動を展開するために必要な方法及び技術を学ぶ内容とする。 心身の健康保持増進及び、疾病・障害別に予防、発生、回復及び改善に対応した支援方法と地域活動の組織化を含めた展開方法について学ぶ内容とする。
地域看護管理論		健康危機管理を含む内容とする。
疫学	2	公衆衛生看護活動を展開するうえで、基盤となる疫学調査・分析、活用方法について学ぶ内容とする。
保健統計学	2	公衆衛生看護活動における統計学の基礎、情報処理技術及び統計情報とその活用方法について学ぶ内容とする。
保健福祉行政論	3	行政組織について学ぶ内容とする。 保健医療福祉の法的基盤及び行財政を理解するとともに保健医療福祉の計画の企画及び評価について実践的に学ぶ内容とする。 調査で明らかにされた生活環境が人々に及ぼす健康上の影響など、健康に係る社会問題を解決する政策形成過程に活かす方法を学ぶ内容とする。 事例を用いて政策形成過程等に関する演習を行う。

教育内容	単位数	留意点
<p>臨地実習</p> <p>地域看護学実習</p> <p>個人・家族・集団の生活支援実習</p> <p>地域看護活動展開論実習</p> <p>地域看護管理論実習</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>2</p> <p>2</p>	<p>地域看護学、疫学、保健統計学及び保健福祉行政論で学んだ知識を活用した実習とする。</p> <p>臨地実習は、保健所、市町村は必須とし、学校、事業所、医療・福祉施設等、多様な場で実習を行う。</p> <p>地域の社会資源を活用し、生活を支援する実習を行う。個別事例に対して継続した訪問指導を行う。(複数事例が望ましい)家庭訪問を通して、地域の健康課題を理解することができる実習とする。集団を対象とした健康支援を体験する実習とする。</p> <p>地域の活動計画のプロセスを理解し、保健活動を展開する実習とする。地域の保健医療福祉の計画を知り、その意義について理解できる実習とする。地域住民、関係機関や他職種との連携・調整の実際が理解できる実習とする。</p> <p>保健活動の管理や評価、社会資源の開発等について学ぶ実習とする。健康危機管理体制の実際を学ぶ実習とする。</p>
<p>総計</p>	<p>23</p>	<p>745時間以上の講義・実習等を行うものとする。</p>